

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	文学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 2003年度の文学部改組後について総点検し、それに基づいて組織運営システムと教育研究組織を見直す。	→組織運営システム、教育研究システムの検討委員会を設置。点検報告書の作成、改善策の策定。委員会記録	B	B	B	B	/
2. 総合心理科学科における一学科一専修体制を点検し、それに基づいて教育研究体制を見直す。	→改善案の策定。点検報告書の作成	C	C	C	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	文学部の組織運営および教育運営システムは、既存の学部委員会、カリキュラム委員会を中心に検討が行われ、学部執行部では文学部組織運営に関わる全ての課題を継続的に検討した。しかし、2003年度の文学部組織改編後の総点検に基づく具体的な改善課題の同定には至っていない。目標1の継続的な実行策が必要となる。
目標2	2009年度に教育学部が新設され、これに伴って立ち上がった総合心理科学科心理科学専修は2012年度に無事完成年度に達した。新体制下、総合心理科学科では毎月の学科会議と各種ワーキンググループにおいてカリキュラムおよび教育研究環境に関わる課題を点検し、改善策を講じている。2013年度以降は総合心理科学科の教育研究体制の改善案について文学部全体への報告の機会を設ける。
備考	